



Minami-hatoba_1(Shirouyasu_Suzuki)

2005-07-31

多摩美映像演劇学科の卒制合宿。

28日、午後1時に自宅に向かえに来てくれた副手の加藤晃子さんの車で甲州街道から中央高速に入り、途中休憩してコーヒーを飲み、大月から河口湖で東富士五湖道路に入り山中湖にて出て、多摩美山中湖セミナーハウス純林苑に3時半過ぎに着いた。4時40分に参加者全員が集合して合宿ガイダンス、参加者の合宿での各自の課題の報告。その後、わたしの部屋に担当の学生に集まって貰い、やることを指示。6時に全員食堂で夕食。わたしは、ほしの教授に誘われて車で近くの村営の温泉に行き、7時に戻って、名塚君と彼が書いてきたシナリオを受け取って話し合う。次にドキュメンタリーを作る佃さんと話し、次に印画紙を使った一種のオブジェ作品を作る齊藤君と文章の書き方について話す。その次に、上演作品をやる山峰君、岸さん、伊藤さん、阿部さん、中村さんと、ビデオ映像を見ながら主題となる廃墟化した団地の話をした。そこでもう10時になったが、時間外に住吉さんが来ていろいろと話して、名塚君のシナリオを読んで、1時過ぎて寝た。

29日は、8時10分前に目が覚めて、顔を洗っていると朝食を知らせる鐘が鳴って、食堂に行き、朝食。食後部屋で、iPodに入れてきたブラームスの交響曲をスピーカーを繋いで聞く。10時半に名塚君が来て、昨夜読んだシナリオについて話し合い、直すところを指摘する。11時に齊藤君が書いてきた文章を見て、そこで論理展開の話をする。12時昼食。食後、学生たちが芸祭で宣伝に歌う合唱の練習をDVカメラで撮影。1時半から福村さんが撮って一部編集した8ミリフィルムを壁に上映してみ、いろいろと話。次に松岡さんが来て、絵本とアニメの作品の話。絵本の印刷と製本のこと。アニメに使う音楽を「GarageBand」で作るやり方を教える。佃さんが来て項目を書き出してきて検討する。それから小林さんが来る。撮影者と対象となる人との倫理的関係について悩んでいるということ。次に西川君が来て、ビデオ映像を廊下に置いてあるモニターで見て話す。それから中村さんが来て上演の時に朗読をしたいが、その言葉どういう風に書いたらよいかという話。そして福井さんが来て彼女が撮った人物の顔のアップの写真のコンタクトを見て話す。それから、柿内君がシナリオを持って来て、その作品の意図を聞き、話し、シナリオを置いていく。一人約30分の話し合いで、6時になって夕食。夕食後、7時から濱野さんと振り返って自分を見つめる作品を作るという話をする。30分空いたので、風呂に入る。遅れ来た清水君と助手の大平君と一緒に風呂から出て、井上さん、二宮君、上野さんたちの諫早をドキュメントする作品の方法と作者たちの動機の話。その後、名塚君が書き直したシナリオを持ってきて話す。それから、山峰くん、岸さん、伊藤さん、中村さん、阿部さんが来て、上演の基本的な考え方を決めたと話しに来た。9時から作業成果報告。その後、女性たちの合唱の練習を聞く。それから、部屋の戻って、柿内君のシナリオを読んだ。10時半廻って、わたしは疲れて、階段下の集会場所でビールを飲んだりして語っている声を耳にしながら寝た。

30日7時半頃起床、8時に朝食。iPodのモーツアルトの交響曲。10時半に相沢君と岡澤さんが二人で作る映画のシナリオを持ってきて、その場で読んで話をする。セックスした相手の女が溶けて液体になってしまうなど、相手とする者が皆軟体化してしまい、その軟体と抗う男の話。ダンサーの岸さんが来て自分の表現のことを話すので、わたしは土方巽さん話をする。名塚君がシナリオを持って来る。昼食。1時に中山さんが来て、インスタレーションに赤い布を使った空間を作るという話。柿内君が来て、昨夜読んだシナリオについて話す。郊外のいろいろな場所で立ち話する男たちの話なので、同世代を「立ち話世代」と捉えているということ話す。なるほど、今は「立ち話時代」といえるのかも。佃さんが来て、ドキュメンタリーの演出ということの話。次に佐藤君が来て、HDDVで撮った映像を見て、話す。撮

Navigation

[Previous 月](#)
[Next 月](#)
[Today](#)
[Archives](#)
[Admin Area](#)

Categories

[All](#)
[General](#)

灰皿町の本

●[幻想小説『なめくじキーホルダー』清水鱗造](#)

●[「週刊読書人」詩時評一九九二-一九九三年 清水鱗造批評集 第二分冊](#)

Search

影者が消えていく作品ということから、大木裕之の作品の話などする。4時に、清水君、住吉さん、阿久津さんが来て、ゼミ室に行って、住吉さんが撮った映像を見て、彼らの上演刷る作品の話。光が主題になっていて、月のシーンと地球のシーンがあるとかいうこと。来週には台本のコピーを送るように言う。そしてまた相沢君岡澤さんの組と16ミリにするかDVにするかの話。夕食。7時に佐藤三加さんと落下体験を作品にするという話。その後、増田さんが来て、鉾山を舞台にした非現実的なストーリーのアニメ作品のシナリオを読んで話す。それから、また名塚君が来て、シナリオの直しの最終稿を持ってきた。8時30分から作業成果報告。学生たちが話した後、教師が話す番で、わたしは今年一杯で定年なのでもうこの純林苑に来る機会は無いだろつとすることから始めて、若い人の創作の現場に触れるチャンスとすること、皆がそれなりに現実と観念と表現意識に向かい合っているということなどを時間を取って語ってしまった。終わって、教員の共同の部屋に行って、ビールを飲みながら、濱野さん、早川さん、小暮さんなどと話をし、2時頃、自分の部屋に戻って寝た。

23:32:57 - shirouyasu - No comments

2005-07-28

28日の今日から、31日まで多摩美映像演劇学科の卒制合宿。

28日の朝、トイレで読んだ「脳と心の地形図」には、色つきページに脳の構造が書かれていた。ストレッチ体操、シャワー。折れたヒメジオンを家の中から撮る。日録ノート。ヒメジオンの姿をBlosxomBlogに入れる。現在、「灰皿町blog日記」に今日から卒制合宿に行くと言っている。合宿先は、山中湖近くの多摩美のセミナーハウス「純林苑」。午後、副手の加藤さんの車で行くことになっている。その前に蕎麦を茹でて食べよう。この「灰皿町blog日記」は31日までお休み。

12:01:23 - shirouyasu - No comments

「現代詩手帖」8月号「戦後60年＜現代詩＞再考」の座談会を読む。

27日の朝、トイレで読んだ「脳と心の地形図」は、「第一章 ダイナミックなシステム」。ブレインマッピングが骨相学から始まったことが書いてあった。重傷のてんかんの患者の16歳の少女の頭蓋骨の、19世紀の骨相学者ガルが歓楽器官と指摘した部位の近くに、最近、電流を流したら、その少女は笑い出して、「何で皆さんわたしを見てくの」と言ったという。つまりその頭の前のところが脳の笑いの働きをするところだった。側頭葉には霊的な感じが働くところがあるということだ。今世紀に入って、神経外科の手術は手探りで脳を切り取ることが行われていた。ロボットミー。薬を使って神経の病を治すようになって、外科手術は下火になるなどと書かれていた。トイレに入る前に、津ヶ谷さんから送られて来た南瓜を牛蒡と一緒に煮始める。ストレッチ体操、シャワー。シャワーの点火が不良でお湯がでない。湯船のお湯を浴びる。麻理がガス工事店に電話。仕事場に下りて、日録ノート。それから、BlosxomBlogに[朝顔の花](#)を入れる。「現代詩手帖」8月号の特集「戦後60年＜現代詩＞再考」の10人の詩人の「座談会」を読み始める。途中、麻理と蕎麦とうどんを混ぜて茹でて昼食。ちょっと仮眠。仕事場に下りて、「座談会」を読み続けて、読み終わる。40ページに及ぶ座談会。辻井喬さん、飯島耕一さん、長谷川龍生さん、吉増剛造さん、佐々木幹郎さん、荒川洋治さん、新井豊美さん、井坂洋子さん、野村喜和夫さん、城戸朱理さんの10人。城戸さんが司会。先ず「現代詩」について、見直そうという考え方を述べ合うところから、各自が選んだところ、更に選ばれた詩などについて、詩人のエピソードを交えて語っていた。「戦後詩」の始まりを「荒地」に限定しないで、戦前からの詩人たちも含めて考えるというようなこと、女性性ということ、アジアという視点が欠落していたこと、そして10年、いや20年停滞しているということなどなどが語られていた。石原吉郎さんの詩について、荒川さんと佐々木さんが厳しい議論をしているところなども面白かった。わたしの詩を選んだわけとして、吉増発言「戦後初めて躍り出てきた処女言語

Login

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

Powered by



性というか、その画期的な成果だと思えます。『鈴木志郎康問題』というのはやはりあるんだと思う。新井発言「六〇年代終わりのラディカリズムの中で書かれた鈴木さんのプアプア詩は、伊藤比呂美さんに非常に影響を与えたと思えます。鈴木さんはここで身体と言語の両方のエネルギーを一挙に噴出させている。書かれているのはとても微少な日常のスペクタクルですが、前人未踏の境地という感じがしました」。佐々木発言「悪女の役割は男の詩人が引き受けたんじゃないかしら。たとえば一時期のプアプア詩を書いていた鈴木志郎康は悪女をやったんじゃないかという感じがする」。いやあ、取り上げられるのは、うれしいですね。ところで、選ばれた95篇の詩の方は、今のわたしは読めないのです。多摩美の生涯学習の講座で書かれた詩は読めたのに、なぜ選ばれた立派な詩は読めないのだろうか、自分でも不思議です。はっきりしているのは、手渡されるだけで、書いた詩人たちとその詩について生な言葉が交わせない、つまりコミュニケーションできないからです。座談会を読み終わって、引用する部分をスキャナーで取って、パソコンでテキストに変換する。ガスの修理に人が来る。夕刊を読む。明日から、多摩美の卒制合宿に行くので、下着など用意する。「灰皿町blog日記」を書き始める。途中、麻理とお刺身とカボチャの煮付けで夕食。ちょっと仮眠。仕事場を下りて、「灰皿町blog日記」を書き継ぎ、ここまで書いた。9時半近くで、まだアップはしない。リンゴ、サツマイモ、牛乳。また仕事場に戻って、[「PoemWiki 鈴木志郎康」](#)に30年前の映像作品「日没の印象」の[「スライドショー」](#)を入れた。これで12時廻って、「灰皿町blog日記」をアップする。

00:19:21 - shirouyasu - No comments

2005-07-27

ク・ナウカの「王女メディア」を東京国立博物館で見る。

26日の朝、トイレで読んだ「脳と心の地形図」には、ブレインマッピングが画像処理の発達で可能になり、更に可能性としての脳のコントロール、そしてその社会的影響などのことが、「はじめに」と題して書かれていた。台風7号が東京に向かっていているという天気予報。幾つもの警報。今日は、ク・ナウカの「王女メディア」を見に行きことになっているので気に掛かる。ストレッチ体操、シャワー。雨に打たれる朝顔の花を撮る。「現代詩手帖」の8月号が送られて来て、パラパラと見る。「戦後60年<現代詩>再考」という特集で、10人の詩人が座談会をして選んだ「戦後60年名詩選95篇」が載っていて、その中にわたしの「春春処女プアプアが家庭的アイウエオを行う」と「終電車の風景」の2篇が選ばれていた。座談会はまだ読んでない。麻理と蕎麦とうどんと混ぜて茹でて昼食。夏休みに自主制作したいといっていた多摩美の1年生のシナリオ「ハリネズミの脱毛」を読み、メールで感想を送る。それから、[雨に打たれる朝顔の花](#)をBlosxomBlogに入れる。落ち着かない気持ちで過ごして、夕刊を読み、5時半頃家を出て、小田急、JR山の手線で上野へ。公園口の上の蕎麦屋でざる蕎麦を食べて、ひどい降りの雨の中、上野公園の噴水脇を歩いて東京国立博物館へ行く。そこの本館特別5室でク・ナウカの「王女メディア」の公演があった。配られた演出の宮城聰氏の「ノート」によると、古代ギリシャ人が持っていたと思われる「アジアに対するコンプレックス」と「女系社会あるいは女性原理へのコンプレックス」の、この二つのコンプレックスを元に、その関係を明治時代の日本と朝鮮の關係に置き換えての演出になっていた。明治時代の大学教授たちの宴会の場面で、教授たちが「王女メディア」のセリフを言う役となり、メディアなど登場人物を演技をする者たちは朝鮮の女性と日本の軍人と言うことになっていて、舞台は能舞台を思わせる方形の舞台だった。メディアのセリフ役者阿部一徳と演じる美加理の両者の熱の入った演技が見応えがあった。公演の後、早稲田大学の能研究者の演劇博物館長と宮城氏とのトークがあったが、能をかなり意識しているようだった。わたしは、小指値の「My name is I love you」と似ているというので見に行ったのだったが、演じる役者とセリフを言う役者が別ということでは同じだが、指向するところは違うように見えた。しかし、セリフと身体の分離に二つのあり方があるというのは面白い。帰りはもう雨が止んでいた。偶然一

緒になったダンス研究家の國吉和子さんと上野駅まで話ながら歩いた。西日暮里までJR山の手、そこで地下鉄千代田線乗り換えて帰宅。リンゴ、バナナ、サツマイモ、牛乳。仕事場に下りて、「灰皿町blog日記」を書いた。

01:00:31 - shirouyasu - No comments

2005-07-26

「極私的に遂に古稀」が、山形ドキュメンタリー映画祭の特集プログラムに。

25日の朝は、トイレでリタ・カーター著「脳と心の地形図」を読み始めた。先ず、監修者の養老孟司氏の「監修のこぼし」を読んだ。血流などで脳の働いている部分に分かるようになってきた。その脳の働きは常識になるだろうと書かれていた。ストレッチ体操、シャワー。庭の小さな紫陽花の花を撮る。仕事場に下りて、日録ノート。紫陽花の花をBlosxomBlogに入れる。一昨日買ってきたMOドライブで多摩美の3年生の田谷野さんの4駒マンガの画像ファイルをMac miniにコピーする。後で、Webに掲載するつもり。メールを開くと山形ドキュメンタリー映画祭の事務局の藤岡朝子さんからのメールで、特集2のプログラム「私映画から見えるもの スイスと日本の一人称ドキュメンタリー」で「極私的に遂に古稀」を上映したいということだった。要件の一つに、字幕をつける予定がなければ、日本語採録台本が欲しいとあったので、以前字幕をつけて貰ったことがある「アウラ」の社長の幾代昌子さんに電話して、字幕をつける手はずをつける。そして、VHSのテープをダビングして作り、出掛ける時に宅急便で送ることにする。2時頃蕎麦を茹でて昼食。テープを梱包する。3時前に、自転車でテープを宅急便を扱うクリーニング屋に持って行って送り、家の戻ってHDDを持って出掛けて、地下鉄で多摩美へ。上野毛のコンビニでハンバーグ弁当を買って、何かのくじを引いたら、缶チューハイの「-196℃」が当たった。研究室で、eMacのファイルを持って行ったHDDにコピーする。4年の佃さんが来て、卒制のドキュメンタリーの一部編集したテープを持ってきたのでそれを見て話す。5時半ごろ、ハンバーグ弁当を食べる。6時から、来年度のカリキュラムについての臨時的映像演劇学科会議。9時過ぎ終わって、いろいろあって、10時過ぎに加納さんと下校、三茶まで一緒。代々木上原で降りたら雨。折りたたみの傘を鞆から出して、傘差して帰宅。リンゴ、トウモロコシ、煎餅、牛乳。夕刊を見て、仕事場に下りて、「灰皿町blog日記」を書いた。

01:29:06 - shirouyasu - No comments

2005-07-25

neoneo坐で小川伸介監督作品「1000年刻みの日時計」を見て、話をする。

24日の朝、トイレで読んだ「墨子」は、最後の「公輸」篇を読んで読み終わった。公輸般が楚の国で「雲梯（うんてい）」という城を攻める新しい武器を発明して宋の国を攻めようとしていると聞いて、墨子は楚の国に行って、戦争を止めさせようとするが、君主が聞かないので、革帯と木札を使って、公輸般とゲームをやり、墨子が勝って、更に説得して戦争を止めたということが書いてあった。墨子の非戦論者の活躍の一コマというわけ。これで、「墨子」は読み終わった。ブレヒトの「偽墨子=メ・ティ」と本物の「墨子」を読んで、墨子の「兼愛」や「非攻」は確かにブレヒトに影響を与えていると思えた。今日はストレッチ体操はせず、朝顔の花を撮って、BlosxomBlogに入れて、11時半頃家を出て、neoneo坐へ。地下鉄で新御茶ノ水で下車、出口のビル内の蕎麦屋で冷やし野菜蕎麦を食べて、「cafe de いいい」でコーヒーを飲みながら、小川伸介さんの作品について考えを纏める。中央大学の記念講堂のあたりを通過してneoneo座に行く。すっかり変わっている。外の受付にいた伏屋博雄さんが遠くから手を振って挨拶した。伏屋博雄さんと会うのは何年振りのことか。neoneo座の経営者の佐々木尚子さんを紹介してくれる。1時半から小川伸介監督作品「1000年刻みの日時計」の上映。3時半頃「前編」が終わっ

て、ちょっと休憩して「後編」の上映。5時半過ぎて全部の上映が終わる。それから、会場を作り替えて、「講座」として、伏屋さんとわたしが「1000年刻みの日時計」について話をした。前半は、田作りや稲の生長と実りについて「科学映画」風に合理的説明で展開、そこに土方巽さんの舞踏的演技がはさまる。後半は山の神の話、縄文土器の発掘、島田省吾や宮下順子などの一流俳優を迎えて、村人総出演で、一揆の裁きの場面の演劇的再現など。水面すれすれの田んぼの土や稲の開花など肉眼では見ないところ見せ、言い伝えや神様など見えないものを再現芝居で見せたりして、村と農民を視覚的にまた歴史的に深く描いていた。小川さんが亡くなって13年、小川伸介さんは1960年代から1980年代までの20年を映画を作るということで、思想的に生き切った人と思える。「講座」が終わった後、飲みながら参加者と小川伸介さんや制作時の逸話などを話し合った。9時近くneoneo座を出て地下鉄で帰宅。代々木上原駅近くで買ったおにぎりを食べて、10時からBSの「義経」を見て、リンゴ、サツマイモ、牛乳。仕事場に下りて、「灰皿町blog日記」を書いた。

00:53:17 - shirouyasu - No comments

2005-07-24

「曲腰徒歩新聞」を更新する。

23日の朝、トイレで読んだ「墨子」には、墨子と発明家の公輸子との会話が書かれていた。公輸子が船の戦闘で相手の船を引っかけたり防いだりするのに使う「こう（金へんに句）距」という武器を発明したと聞いて、墨子が訪ねると、「『こう（金へんに句）距』と墨子の『義』とどちらが勝れているか」と公輸子が言うので、墨子は「愛情で引っかけ、誠意で防ぐ、わたしの『義』の方が、互いの『利』になるから、当然勝れている」と答えたということ。ストレッチ体操、シャワー。朝顔の花を撮る。日録ノート。[朝顔の花](#)をBlosxomBlogに入れる。「曲腰徒歩新聞」の記事を書く。蕎麦を茹でて昼食。その後、[「曲腰徒歩新聞」](#)の記事を書き上げてアップする。3時過ぎに家を出て地下鉄で澁谷に出て、伊東屋の万年筆売り場で卒業生の鈴木聡子さんにちょっと声を掛けて、ビッグカメラに行く。プリンタのインキとMOドライブを買ってイメージフォーラム付属映像研究所へ行く。4時半前、授業前にトイレから出るところで地震。奥山さん、池田さんとBクラスの第2課題の講評。6時ごろ富山さんが作ったカレーを御馳走になり、続けて講評。9人の作品を講評した。10時に終わって、「ウエスト」に行き、ビールで前期終了の生徒たちと懇談。11時を廻ってタクシーで帰宅。リンゴ、サツマイモ、牛乳。夕刊を読んで、仕事場に下りて、「灰皿町blog日記」を書いた。

00:52:27 - shirouyasu - No comments

2005-07-23

一ヶ月振りに「曲腰徒歩新聞」の記事に取りかかる。

22日の朝、トイレで読んだ「墨子」には、弟子が墨子に「過去のことは見えるが、未来のことは見えない」というと、墨子は「もし母上が危篤と聞いて、早く駆けつけなければならない時に、駿馬とよたよたの駄馬と、そのどちら選ぶか」と弟子に質問し、弟子は「勿論、駿馬を選びますよ」と答えた、すると墨子は「未来が見えるじゃないか」といったということが書かれていた。ストレッチ体操、シャワー。はびこってきた折り鶴欄をあちこちで引き抜く。赤まんまを撮影。外に出した猫のママニを呼び入れようとしたが、なかなか来ないので、煮干しで誘って家に入れる。仕事場で日録ノート。[「PoemWiki 鈴木志郎康」](#)に30年前の詩を入れる。麻理と蕎麦とうどんを混ぜて茹でて昼食。ベッドで昨夜録画した「菊次郎とさき」を見て、パルケに自転車で行って、トウモロコシ、枝豆、モヤシ、豚肉、牛乳、パン、リンゴ、イチジクなどなど買ってくる。トウモロコシと枝豆を茹でる。夕刊を読む。大相撲の中継を見る。仕事場に行き、BlosxomBlogに[赤まんま](#)を入れる。それから、久しぶりに「曲腰徒歩新聞」の記事に取りかかる。8時廻って、麻理と

野菜炒めで夕食。食後、ベッドに行って寝ころんで「御宿かわせみ」を見る。仕事場に戻って、扇風機をが廻ったり止まったりするので、見ると電源コードが切れかかっているの、切れそうな部分をハンダ付けする。「曲腰徒歩新聞」の記事の続きを書く。12時過ぎ居間に行って、リンゴ、トウモロコシ、煎餅、牛乳。また仕事場に戻って、「灰皿町blog日記」を書いた。

01:18:19 - shirouyasu - No comments

2005-07-22

今朝は目が覚めたら9時を廻っていた。

21日の朝、トイレで読んだ「墨子」には、墨子に向かって「義を説いて歩くより先ず実践すべきではないか」という批判をする者に対する反論が書いてあった。実践として、一人で農耕などして働いても、貧しい人をどれほど救えるかと云えば大したこと無いが、多くの人に説いて歩いて多くの人が「義」を実践すればそれだけの効果がある。また、君主に説いて君主が「義」を行えばその国におおきな「利」がもたらされる。と教宣活動の重要性のことが書かれていた。目が覚めたのが9時を廻っていたので、ストレッチ体操とシャワーを終えたらもう12時を過ぎてしまった。朝顔の花は咲いたらしいがもう萎れていた。それに蟻が集っているのを見つけて撮影した。仕事場を下りて、日録ノート。その[萎れた朝顔に蟻が集っているところ](#)をBlosxomBlogに入れる。FT発表会で配られた小説「くれないハンター」を読む。作者にメール。残っていたご飯と鮭の煮物の缶詰で昼食。ベッドで横になって、17日に録画した「義経」を見る。4時頃出掛けて、下の道でタクシーを拾って四谷左門町のクリエイティブフォトタカに行って、魚眼写真のフィルムの現像とベタ焼きを頼む。四谷3丁目から地下鉄に乗って、赤坂見附、表参道、二子玉で乗り換えて上野毛下車。さくら庵で相撲中継を見ながら、「雉焼き重」。さくら庵の主人がリンゴを2個くれた。多摩美へ。6時からの「ドキュメンタリー映画論」でジョナス・メカスの「リトアニアへの旅の追憶」を見せる。その後、発表された4駒マンガの画像を研究室のeMacでDVDに焼こうとしたら、HDDの容量不足で焼けない。発表作品の「フリーペーパーUndergroundBOMB」を読む。それらの内容のメモをリストに記入し、プリント。帰ろうとしたところに、一人の学生が来て、少しづつ創作意欲が出てきたと云うことで映像作品を作る話しをする。夏休みにメールでやりとして内容を固めることにする。10時半廻って下校。地下鉄で帰宅。澁谷までの車内で4年の学生と卒制のアニメ作品の進行状況について話しをした。帰宅して、さくら庵で貰ったリンゴ、せんべい、牛乳。テレビを見ると、ロンドンの地下鉄でまた爆発テロがあったというニュースをやっていた。夕刊を読んでから、仕事場を下りて、スカジーのMOドライブをMacminiに接続してみたがアイコンが出ない。それから、「灰皿町blog日記」を書いた。

01:58:02 - shirouyasu - No comments

2005-07-21

多摩美オープンキャンパスで受験相談に対応する。

20日の朝、トイレで読んだ「墨子」は、「魯問」篇に入った。弟子との問答篇。風邪を引いた墨子に「先生のような聖人が鬼神の禍を受けるなんてどうしたことでしょう」と問うと、墨子は「風邪に罹る要因はいろいろある。わたしが風邪を引いたのは、百ある門の一つに鍵を掛けて安心していたら泥棒に入られたようなものだ」と答えたということ。ストレッチ体操、シャワー。かやつり草を撮る。仕事場を下りて、日録ノート。[穂を出したかやつり草](#)をBlosxomBlogに入れる。それから、1年生の作文を読んで一つ一つ感想を書き込む作業を全部すまして、約束の今日、返すことが出来る。1時半頃麻理とうどんと蕎麦を混ぜて茹でて昼食。2時半頃出掛けて、地下鉄で多摩美へ。コンビニでハンバーグ弁当とインスタントのしじみのみそ汁を買って研究室へ。そして研究室のeMacに向かい発表会で発表された作品

の内容をリストに書き込む。5時頃4年の佃さんが来て、卒制作品の編集した部分を持ってきて見せることになっていたが、iMovieが途中で「何か容量不足」と警告を出して終わってしまい、書き出せなかったという。メモリもハードディスクも不足するはずのない容量なので、分からない、で、木村さんに聞いたら、iMovieの「ゴミ箱」の空き容量の不足ではないかということになった。5時半にハンバーグ弁当を食べる。6時になり、オープンキャンパスで受験相談に当てられている部屋に行き、相談に来た高校生に「自己推薦入試」のことや、映像演劇学科のカリキュラムの説明などをする。9時過ぎまでに6、7人に対応した。全部女子高生だった。研究室に戻ると、作文のことで質問しに来た1年生に、なぜなぞが好きだというので、「中世なぞなぞ集」を紹介したが、、、。10時過ぎに下校、地下鉄で帰宅。りんご、せんべい、牛乳。夕刊。仕事場に下りて、メールの返事を書いてから、「灰皿町blog日記」を書いた。

01:16:21 - shirouyasu - No comments

2005-07-20

FT・前期発表会「ai maimi」第二日。

19日の朝、トイレで読んだ「墨子」には、儒家の四つの欠点として、鬼神を信じない、服喪を長い、音楽をやる、宿命論を取ると云うことと書かれていた。しかし、孔子は尊敬するということがあった。軽くストレッチ体操、シャワー。[朝顔の花](#)をBlosxomBlogに入れる。1年生の作文を読む。12時頃家を出て地下鉄で多摩美へ。上野毛のさくら庵でざる蕎麦。多摩美に行く。2時から映像のEプロで16ミリの映像作品「オーちゃんこ・プール」「クロール」「ポーレックス カセックス」「どねくしか」を見る。続けてDプロで「めだたないどわ」「あなた」「0423-」、Cプロの「こひにわすらい」「早退」「恋は徒手空拳」「間違い探しのポロンポロン」（これは題名が変わっていたがその題を忘れた。）「ひいひいたもれ」を見た。次のBプロまで時間があつたので、食堂でカレーと蕎麦を組み合わせた定食を食べた。そしてBプロの「わたしの好きな人達?」を見て、映像作品は全部見た。講堂に展示されている作品「風葬」を見てみると、作品を見に来た人が学生といざこざがあつたと訴えてきて話す。それから本館に行き展示されている作品を見て、研究室に戻り、ちょっと経って9時になって、講堂に行き観客の投票による「観客賞」の発表。打ち上げの乾杯。何人かの学生に作品の感想・批評を話す。10時廻って、加納助教授と下校。ナセヤでビールを飲んでいろいろと話し、12時近くタクシーで帰宅。リンゴ、煎餅、牛乳。夕刊。大相撲全取り組を見て仕事場に下りて、メールに返事を書き、「灰皿町blog日記」を書いた。

01:51:26 - shirouyasu - No comments

2005-07-19

映像演劇学科FT・前期発表会「ai maimi」第一日。

18日の朝、トイレで読んだ「墨子」には、服装のことが書いてあつた。儒者の公孟子が正装して墨子のところ来て「君子は服装を重んじるべきかどうか」を訪ねたので、墨子は「義を行うのに服装は関係ない」と聖王たちのまぢまぢな服装の例を挙げて答えたら、公孟子が「それじゃ、直ぐに服を着替えましょう」というので、墨子は「そんなことをされたら、服装が関係あることになってしまうので、止めてくれ」と云つたという。軽くストレッチ体操、シャワー。朝顔の蕾を撮る。日録ノート。[朝顔の蕾](#)をBlosxomBlogに入れる。それから、1年生の作文を読んで短い感想を書き込む。12時ごろ家を出て地下鉄で多摩美に行く。上野毛の駅で映像演劇学科のほしのあきら教授に会って、一緒に「さくら庵」で昼食。ざる蕎麦。多摩美に行き、2時から映像スタジオでFT・前期発表会「ai maimi」の映像のAプロで4本の作品「白目暗」「解散」「早退」「双子のつけ爪」を見て、終わって直ぐに場所を鏡の間に移って、3時から上演作品「グランドゼロ おくだけ」を見る。これも

終わって直ぐに演劇スタジオに移って、ダンスの上演「CAT WALK」を見た。B棟の教室でやる次の上演作品「そ、そ、そ、それはさるまたのまちがいじゃないの？」まで1時間ほど時間があつたので、今見た作品の感想を述べたり、展示作品「light」を見たり、また食堂でカレーを食べた。「そ、そ、、、、、、」を見た後、これも作品のラジオディスクジョッキー番組「ダイダノカイシン」の野外スタジオを覗いた。そして8時から講堂で演劇の上演別役実作「ジョバンニの父への旅」を見た。終わったのが10時近く、疲れたけど、不思議なことに朝ひどく凝っていた肩こりが解消していた。10時半過ぎに下校、地下鉄で帰宅。帰宅してシャワー、リンゴ、バナナ、煎餅、牛乳。NHK「大相撲全取り組」を見て、仕事場に下りて、「灰皿町blog日記」を書いた。

01:34:40 - shirouyasu - No comments

2005-07-18

劇団小指値番外公演vol.1「うんこ食べたら40万円」を見る。

17日の朝、トイレで読んだ「墨子」は、「公孟」篇に入った。この篇は儒者との対話である。儒者が「君子は鐘のようなもので、叩けば鳴るが、叩かなければ鳴らないものだ」と言うのに対して、墨子は「聞く耳を持たない君主に対してそれでいいが、国が危機的な状態ある場合や、君主が義に反した戦争を仕掛けようとしている時は、聞かれなくても進んで発言すべきだ」と言う。ストレッチ体操。シャワー。トイレに行ってからシャワーまでの間に、南瓜とグリーンピースを煮る。そこに、名古屋の津ヶ谷伸子さんから南瓜やレタスやミニトマトなどが送られてくる。[枯れた紫陽花の花](#)と猫じゃらしを撮る。日録ノート。「PoemWiki」の「[鈴木志郎康](#)」の項目に、「日没の印象」のテープからわたし自身の10年前の静止画をコピーして入れる。矢後君の「無限の自由」をダビング。麻理が蕎麦とうどんを混ぜて茹でて、津ヶ谷さんが送ってきた冬瓜の煮付けとで昼食。ちょっと仮眠。1年生の作文を読む。5時半頃居間でテレビの中継の相撲を見ながら一休み。朝青龍が琴欧州に負けた。6時半頃出掛けて、タクシーで千駄ヶ谷の「Loop-line」へ行き、小指値の「うんこ食べたら40万円」を見る。狭いcafeは50人足らずで満員。ドリンク付きで1000円。話は、日本に来て歌を歌って稼いでいるジプシーの姉妹（姉・大道寺梨乃、妹・篠田千明）が、小さい頃から憧れていた男が日本に来ているという噂を聞き、彼が鼻の高いのが好みだということで、妹の整形手術に必要な40万円を、姉が澁谷のおじさんのウンコを食べて稼いでやって鼻の手術をしたものの、男は行くへが分からなくなる。姉は「ウオッカ」としか、妹は「テキーラ」としか発言しない。その二人の間に、ロシア生まれの通訳女が入って、二人の発言内容を細かく観客に通訳するという仕方です。後半は、その通訳が怒っていなくなるので、姉妹の間に日本語が片道通行で幾らか出てくる。セリフが「ウオッカ」と「テキーラ」しかなく、通訳が説明するというところが刺激的で面白かった。大道寺さん、篠田さん、共に好演。終わった後、演出の北川陽子さん、大道寺さん、篠田さんに感想を言って、4年生の佃さん、斉藤君、住吉さんと帰る。千駄ヶ谷駅近くの飲み屋で3人とビールで話をして、10時過ぎにわたしはタクシーで帰宅。帰って、リンゴ、牛乳。仕事場に下りて、「灰皿町blog日記」を書いた。

00:14:07 - shirouyasu - No comments

2005-07-17

多摩美生涯学習デザイン・ナウ「ブログ的生活」で高味壽雄助教授の話を聞く。

16日の朝、トイレで読んだ「墨子」の「貴義」篇の解説によると、「墨家」は激しく厳しい行動集団だったので、分派に別れていって、遂に消滅してしまったということだ。今日はストレッチ体操をしないで、[山吹の花](#)を撮ってBlosxomBlogに入れてから、11時半に家を出て、地下鉄で二子玉乗り換えで上野毛下車。コンビニで

ざる蕎麦弁当を買って多摩美の研究室に行き、その弁当を食べる。1時からデザイン学科の教室で、「ブログの生活」という題で高味壽雄助教授の話を聞いた。blogの特色はパソコンでテキストが使えれば、誰でも簡単にWebに発信でき、誰かが見てくれるということだという。現在のWebの立ち上げには制作環境の変化が激しくプロでも難渋しているが、blogはすいすいと出来るということだった。そして、いろいろなblogを見せてくれた。毎日空の写真を入れている「[今日も天気がいい](#)」、水に拘り続ける「[水・水・水 No2](#)」、一日のアクセス数1000という高味助教授の「[Radical Imagination](#)」など。高味さんは自分の授業をBlogで展開しているということだった。その授業のblog「[多摩美上野毛デザイン学科「ネットワーク」授業ブログ](#)」。2時半に終わって、校庭に学生たちの姿がちらほら見えたので、魚眼レンズ付きのカメラを持って校庭に出て、斉藤君、谷口君、住吉さんたちのスナップを撮った。3時半頃多摩美を出て、フィルムを「クリエイト・フォト・タカ」に持って行こうと、澁谷に出て、そこからタクシーで四谷左門町に行ったが、土曜日で休みだった。そこでまたタクシーを拾って、新宿の厚生年金会館ホール近くの「Contemporary Photo Gallery」に行き、4年生の中野寛之君の写真展「osero rule」を見た。微妙にアウトフォーカスを生かした写真が印象に残った。中野君とちょっと話してから、末広亭の前を通過して伊勢丹に行き、ヒレカツを買って、タクシーで帰宅。残りの大福でお茶を飲んで、夕刊を読み、眠くなったので仮眠。7時半回って、豆腐のみそ汁を作り、ヒレカツで一人で夕食。食べ終わる頃に麻理が帰ってきた。仕事場に下りて、わたしは@niftyの会員なので、「ココログ」のサービスを見てみた。それから、そういえば@niftyのメールアドレスを持っていたのだと、Mac miniに設定しようとしたが、既にMacのメールアドレスが設定されていたので止めた。序でに久しぶりにWindows2000を起動してみたら、マウスが外れていた。居間に行き、リンゴ、草餅、煎餅、牛乳。また仕事場に下りて、「灰皿町blog日記」を書いた。

01:17:09 - shirouyasu - No comments

2005-07-16

山形ドキュメンタリー映画祭の「私映画の可能性（仮題）」に参加の誘い。

15日の朝、トイレで読んだ「墨子」は、「貴義」篇に入った。「義という一字」に命を賭けるという「墨家」の振る舞いについてのことがいろいろと書かれていた。ストレッチ体操、シャワー。庭の朝顔の蔓がどんどん伸びているのを撮影した。仕事場に下りて、BlosxomBlogに朝顔の蔓の画像を入れる。それから、「灰皿町blog日記」の昨日の分を書き、Haizara.netの「[PoemWiki](#)」のアンカーを付ける練習。蕎麦・うどん昼食。20分ぐらい仮眠してから出掛ける。地下鉄で澁谷に行き、「TOP」で山形ドキュメンタリー祭事務局の藤岡朝子さんと会い、10月7日から開かれる山形ドキュメンタリー映画祭のプロジェクト「私映画の可能性（仮題）」に作品参加して欲しいと頼まれて承諾する。スイスのニヨンの「ヴィジョン・デュ・レーン映画祭」と共同企画で、スイスと日本の「セルフ・ドキュメンタリー」を上映して、ディスカッションを行うというもの。その日本の作品としてわたしの「極私的に臨界2003」と「極私的に遂に古稀」を上映したいということだった。その2作品のビデオを藤岡さんに渡す。それから、わたしは東横地下のFoodSHowの高野で紅茶ニルギリとアッサムを買って、Book1stで本を見て、東急本店の地下で煎餅、大福、惣菜、ハム、蜂蜜などなど買ってタクシーで帰宅。大福を食べながら夕刊を読む。仕事場に行き、「PoemWiki」の「[鈴木志郎康](#)」の項目に「極私的に遂に古稀」の写真を入れる。買って来た惣菜で麻理と夕食。食後、ベッドに横になってNHK時代劇「御宿かわせみ」を見る。仕事場に下りて多摩美1年生の作文を読んで、感想を書き込む。10人分くらいやって、居間に行きリンゴ、大福半分、枝豆を食べ、牛乳を飲みながらテレビをぼんやりと見る。巨人が負けて、楽天が勝っている。朝青龍も勝ち続けている。仕事場に帰り、「灰皿町blog日記」を書いた。

01:01:33 - shirouyasu - No comments

2005-07-15

「ドキュメンタリー映画論」と「空間表現研究B」の前期試験。

14日の朝、トイレで読んだ「墨子」には、大国が小国を攻めるのは子どもが夢中になって馬跳び遊びするみたいなもので、互いに国力を消耗してただ疲れるだけだと書かれていた。これは現代にも通じる喩えだと思う。ストレッチ体操、シャワー。薔薇の花を撮る。仕事場に下りる。日録ノート。BlosxomBlogに薔薇の花を入れる。蕎麦と稲庭うどんを混ぜて茹でる。つるつるとざらざら。2時半に家を出て地下鉄で多摩美に行く。4時から造形表現学部教授会、5時から映像演劇学科会議。6時前に食堂でハンバーグ定食。6時からの3限で、「ドキュメンタリー映画論」の前期試験。試験監督をしながら、余った答案用紙を使って、昨日の生涯学習講座で話したところから思い付いた「詩についてのメモ」を取る。各人の脳髓に生起する言語の固有なクオリアということを見ると、クオリアはいかなる記号でも表現ができないのだから、その言葉の意味の伝達不可能性を前にして、たじろいだところから、共有できる言葉の形態のみに頼った表現が生まれてくる。そういう詩の作品が確かにある。しかし、人にとって、その伝達不可能な固有の意味を堅持するところに、言葉を用具としては使わない「詩を書く」ということの意義があるのではないか。読み解けない言葉をそのまま受け止めるという態度が、広く人のつながりを広めて行くのではないか、ということ。7時40分から「空間表現研究B」の前期試験。こちらは、受講者が4年生なので、「あなたが入学してから3年3ヶ月(1年3ヶ月)で学んだことを具体的に書いて下さい」という課題にした。命令口調ではなく、ややお願い的な口調の題になっているのは、わたしの微妙な心理が働いている。答えは、用紙の裏にまで及んで書かれているものもあって、それぞれ自分の表現の道筋を探って来た過程が誠実に書かれていた。読んで、軽い感動を覚えた。9時半過ぎて、助手の三竹さんと下校。ナセヤに行って、ビールとピザとパスタの軽い食事をしながら、いろいろと話した。12時近くタクシーで帰宅。リンゴ、トウモロコシ、煎餅、牛乳。夕刊。ロンドンテロの容疑者発表の記事。仕事場に下りて、西嶋憲生からわたしの映画作品のビデオがあるものについての問い合わせのメールが来ていたので、それを調べて返事する。で、2時近くになってしまい、「灰皿町blog日記」は書かずに寝た。

13:04:43 - shirouyasu - No comments

2005-07-14

多摩美生涯学習講座「新しい詩の書き方を探そう」の最終回。

13日の朝、トイレで読んだ「墨子」は、「耕柱」篇に入った。この篇は例え話を使って弟子に説いたり、反対者に反論した文を集めたものようだ。叱られてがっかりしている弟子に、「高い山に登るのに、鈍牛と駿馬のどちらを選ぶか」と質問して、弟子が「鞭を打てば走る駿馬を選ぶ」と答えたら、「お前が駿馬だから叱ったのだ」と諭したということ。ストレッチ体操、シャワー。枯れた紫陽花を撮って、BlosxomBlogに入れる。「極私的に臨界2003」と「極私的に遂に古稀」を山形ドキュメンタリー映画祭事務局の藤岡さんに明後日渡すためにダビング。蕎麦と稲庭うどんを混ぜて茹でて昼食。「新しい詩の書き方を探そう」の受講者の人たちの詩を読んで分析してメモを書き込む。3時前に家を出て地下鉄で多摩美に行く。4時に4年の清水君が来て、卒制の上演台本のことで、そのテーマになっている「見る」ということについて、透明人間とかフォトンとかについて話す。5時に4年の木村さんが来て、卒制の映画のシナリオについて話す。6時前に食堂に行ってハヤシライスを食べる。食堂で会った4年の住吉さんが、「ぴあ」の上映会で先輩の渋谷のりこの「Bambi Bone」を見てきたという。そこに卒業生の中林舞さんが来て、ちょっと言葉を交わす。研究室に戻ると、鈴木余位君が推薦状を取りに来て、渡す。彼も「バンビボーン」を見てきたっていた。7時から多摩美生涯学習講座「新しい詩の書き方を探そう」の最終回。8時半に終わって、二子玉に全員で出

て、「庄や」でビールなどで会食した。参加者の皆さんがこの講座をよかったといってくれたので、ほっとした。11時頃解散して、わたしはタクシーで帰宅。丁度帰ってきた麻理が買ってきたリンゴ、サツマイモなどと牛乳。夕刊。仕事場に下りて、「灰皿町blog日記」を書いた。

01:18:59 - shirouyasu - No comments

2005-07-13

研究室のeMacにTigerをインストールするのをためらう。

12日の朝、トイレで読んだ「墨子」には、孔子が関所の門の柱を引き抜いて陰謀の相手を逃がした、なんてことが書いてあった。結局、そういう男の弟子が天下に利をもたらす筈がないというのだ。ストレッチ体操、シャワー。日録ノート。BlosxomBlogに[猫じゃらし](#)を入れる。それから、多摩美の卒業生の鈴木余位君の推薦状を書く。蕎麦を茹でて麻理と昼食。ちょっと仮眠。3時頃家を出て地下鉄で二子玉乗り換えで上野毛下車。コンビニでハンバーグ弁当を買って多摩美へ。研究室で、eMacにTigerをインストールしようとして、解説書を読んだら、少なくとも様々な設定ファイルがある「Library」をバックアップして置いた方がいいようなことが書かれていたので、MOディスクにコピーしようとして空にする。これに時間が掛かった。5時にテレコムスタッフの明仁絵理子さんが若い頃の天沢退二郎を撮った8ミリフィルムを返しに来る。天沢が出演するテレビ番組に使った。そのビデオを置いていったので、明仁さんが帰った後見てみる。年取った天沢退二郎が千葉の軍事施設の廃墟で詩の朗読をしていた。ハンバーグ弁当を食べる。6時から萩原さんの代わりに、1年生に夏休み宿題となる「人生本」の説明をした。「表現主体」となる自分を本にすること。研究室に戻って、「library」のコピーを試みるが「コピー失敗」となってしまうと行かない。諦める。9時過ぎ、4年の卒制のグループ、岸さん、伊藤さん、中村さん、阿部さん、山峰さんとナセヤに行き、ビールなどを飲みながら、卒制の進行状況を聞いて話す。それに、今までの卒制の印象に残ったものの話。11時近く解散、わたしはタクシーで帰宅。牛乳、サツマイモ。夕刊。仕事場に下りて、「灰皿町blog日記」を書いた。

01:32:53 - shirouyasu - 2 comments

2005-07-12

FT・Bコース前期発表作品締め切りの日。

11日の朝、トイレで読んだ「墨子」には、更に孔子の悪口が書いてあった。陰謀に加担するどころか、孔子自身が自分を受け入れてくれなかった君主に対して、家臣を唆して陰謀を企てたというのだった。どうも、儒家と墨家の対立はかなり激しかったようだ。ストレッチ体操、シャワー。[もう一つ咲いた薔薇](#)を撮る。日録ノート。薔薇をBlosxomBlogに入れる。うどんを茹でて食べる。眠くなって、仮眠。3時前に家を出て多摩美に地下鉄で行く。二子玉下車、カレーパンを買ってタクシーで多摩美へ。FT・Bコースの発表者リストに、発表会のチラシから作品タイトルを書き込む。iBookで小説を書いてプリンタがないという学生の、そのiBookを研究室のnetプリンタに繋いで印刷して、それを読んで指導する。6時にBコース担当のわたしと海老塚さんと201教室に行き、学生が来るのを待つ。64ページの4駒マンガを描いた学生と、インストールをやる学生と、映像作品を作る学生が作品が出来たと報告に来る。また、パソコンからテープに出したら音が無くなったという学生も来る。レダリングし忘れたのではないかということ。海老塚さんとは彼の次に作る作品の話をした。学生が来ないので研究室に戻る。発表日が来週の18、19日なので、殆どの学生がまだ完成してないというわけ。研究室に戻ってから次々に報告に来たので、まあ、プログラムに穴を開けるということは無いだろう。帰り際まで学生が来て、下校は10時を回った。地下鉄で帰宅。シャワーを浴びる。リンゴと煎餅とクッキーと牛乳。夕刊。仕事場に下りて、夕刊でWebの検索につい

ての記事を読んだので、「鈴木志郎康」を「goo」でいろいろと検索してみる。それから、「灰皿町blog日記」を書いた。

01:27:27 - shirouyasu - No comments

2005-07-11

劇団小指値のカフェ公演の稽古を見る。

10日の朝、トイレで読んだ「墨子」には、孔子の悪口が書いてあった。孔子が君主に対する陰謀に加担したというだ。ストレッチ体操、シャワー。BlosxomBlogに昨日クレマチスと一緒に撮った[終わりに近いヒメジオンの花](#)を入れる。メールに返事を書いたりする。稲庭うどんを茹でてうどんもりで食べる。北川陽子さんに玉野真一のビデオをダビングする。2時頃出掛けて、地下鉄で二子玉乗り換えで上野毛下車。コンビニでアイスクリームを10個買って、多摩美の校舎で稽古している小指値の人たちのところに持って行く。今日はかなり暑いのでみんな喜ぶ。北川さんに「じゅたいこくち」「オイデプス王」「玉野真一作品集」のビデオを渡し、彼女から「MY NAME IS I LOVE YOU」のテープを受け取り、研究室に行ってダビングする。その間に、FTの制作でキャンパスに出て来ている連中から、ロッカールーム、プロデューサールーム、コンピュータ室、工作スタジオなどの鍵を開けてくれと頼まれ、開けたり閉めたりする。5時前にダビングが終わって、小指値のカフェ公演の芝居の稽古を見る。この前の公演のやり方からもう一步進んだやり方になっているのが面白かった。公演は千駄ヶ谷の[カフェ「Loop-Line」](#)で7月17日ということ。それから地下鉄で澁谷に出て、ビックカメラに行って、昨日の買い物のバックがカードにあるので、Mac miniにインストールするソフトを買い、旭屋で身体論系の本を買い、松川で鰻重を食べて、タクシーで帰宅。8時から「義経」を見て、仕事場下りて、[「PoemWiki」](#)の[「鈴木志郎康」](#)の項目に、「極私的ラディカリズム」の詩を載せた。それから、「灰皿町blog日記」の「9日の日記」を書き、居間に行ってリンゴ、トウモロコシ、煎餅、牛乳を口にして、また仕事場に来て今日の分の日記を書いた。

00:46:55 - shirouyasu - No comments

2005-07-10

新しく、ビデオデッキを買った。

9日の日記を10日の夜に書くことになった。9日の朝、トイレで読んだ「墨子」には、更にまた儒家の悪口が書いてあった。儒家は、戦争に勝ったら敗者を深追いせず、隠れているものは殺さず、敵の怪我しているものは車で運ぶ、なんて言っているが、君子だったら、まず話し合いをして戦争を避けるものだ、というのだ。戦争を避けなくて、相手を負かしていい顔するな、というわけ。ストレッチ体操はせず、9時半頃出掛けて、坂の下でタクシーを拾ってIFへ。イメージフォーラム付属映像研究所の第2課題の作品を金井さん、萩原さんと講評する。午前中の授業が終わって、金井さんと近くの蕎麦屋で天ざるを食べて、金井さんは午後の授業があるので別れる。宮益坂下のビックカメラでVHS、HDD、DVDの録画できるビデオデッキを買い、タクシーで持ち帰る。暑いので下着一枚で、寝室のデッキを置く周囲を掃除して設定する。一応、GコードでHDDに録画を予約してみる。それから、BlosxomBlogに[クレマチスの花](#)を入れて、夕刊でロンドンのテロの記事などをざっと見て、丁度帰ってきた麻理とカボチャの煮付けの余りでご飯を食べて、7時前にまた出掛けて、再度IFへ。夜のクラスの課題講評を、かわなかさん、中島さんとやる。終わって雨の中、宮益坂の「ウエスト」に研究生たちと行って、先生、研究生交えて懇談する。12時近く解散して店を出たら雨がすごい吹き降りになっていた。宮益坂を川のように流れる雨水の中を歩いて、そこにうまい具合に来たタクシーを拾って帰宅。ズボンの裾がびしょ濡れた。リンゴ、煎餅、クッキーなどと牛乳を口にして、鱗造さんが作った[「PoemWiki」](#)に[「鈴木志郎康」](#)の項目を作って

「灰皿町blog日記」は書かないで寝る。

23:09:09 - shirouyasu - No comments

2005-07-09

Mac miniでWidgetのprogrammingをやってみる。

8日の朝、トイレで読んだ「墨子」には、儒者はともらい乞食だと書いてあった。儒家は宿命論を唱えて世の中に害を与えるばかりか、礼を重んじると称して、葬式のある家に出掛けて、悲しんだ振りをして飲み食いしに預かるというようなことばかりやっている、というのだ。ストレッチ体操を後回しにして、自転車で小林医院に行って定期的診察をして貰い、空腹時に口の中が苦くなると云ったら、先生が胃カメラで調べてきなさいと紹介状を書いてくれた。処方箋を慶応堂薬局に持って行って、降圧剤などの薬を調合して貰う間、文教堂で本を見て、「Programming Dashboard」というのを見つけて買う。薬局で薬を買った後、パルケでイチジクやレタスやリンゴや牛乳などいろいろと買って帰る。それから、ストレッチ体操、シャワーを浴びる前に、昨日、薦田さんから送られて来た朝顔が咲いたので撮影して、鉢を外に出して蔓を絡ませるための針金を物干しの綱につける。つける場所で麻理とちょっと口論となる。紫陽花の上に繁茂していた蔦の根元を切る。シャワー。うどんもりで昼食。仕事場に下りて、[朝顔の花](#)をBlosxomBlogに入れる。メールに返事。「紀要」に書くことになった「個人映画論」の頭のところを書いてみる。「新映画辞典」の松本俊夫さんが書いている「実験映画」の日記映画のところに、わたしのことが触れられているので、そこを引用する。南瓜と牛蒡と豆を煮る。その間、居間でトウモロコシを食べながら夕刊を読む。南瓜が柔らかすぎで、溶けてしまい牛蒡の南瓜スープになってしまった。それから、北川陽子さんと「My name is I love you」のテープと交換するために、彼女が1年生の時の演習で脚本・演出した「じゅたいこくち」のテープをコピーする。序でに、彼女たち2001年度生が作った「人生本」を撮ったテープを早回しで見る。懐かしい。南瓜の煮付けと焼き肉とで夕食。ベッドでちょっと仮眠。仕事場に下りて、家にあったク・ナウカの「オイデプス王」のテープを、これも北川さんに渡すためにコピー。それから、買って来た「Programming Dashboard」の本を見ながら、Dashboardに入れるWidgetのプログラミングをやってみる。/Developer/Applications/UtilitesにあるProperty List Editorを起動して、Widgetの大きさや文字を決めて、Info.plistファイルとして保存して、Widgetに使う画像ファイルとhtmlファイルを作って同じフォルダーに入れて、そのフォルダー名に「.wdgt」という拡張子を付けたら、それでWidgetが出来た。もっとも、本の通りにやって、お決まりの「Hello World!」が表示されるだけのWidgetだけだ。どうやら、Dashboardのアプリケーションはスクリプトで出来るらしいということが分かった。居間に行って、リンゴ、トウモロコシ、クッキー、牛乳。また、仕事場に下りて「灰皿町blog日記」を書いた。

01:11:54 - shirouyasu - No comments

2005-07-08

FTの作品制作が大詰めを迎える。

7日の朝、トイレで読んだ「墨子」は、「非儒」篇に入って、儒家への批判が始まった。先ず、儒家が決めている服喪の期間が矛盾しているという指摘だった。わたしにはよく分からない。ストレッチ体操、シャワー。薦田愛さんから「朝顔市」の朝顔が送られてくる。[一つ咲いた山吹の花](#)を撮る。日録ノート。山吹の花をBlosxomBlogに入れる。蕎麦を茹でて昼食。2時過ぎに家を出て、地下鉄で二子玉乗り換えで上野毛下車で多摩美に行く。臨時映像演劇学科会議。わたしの退職記念プロジェクトと卒業生支援プロジェクトの持ち方の討議、2008年度からのカリキュラムの討議。食堂でハヤシライス。研究室に戻ると、2年生の一人が、DVからパソコンに取り込んだら、画像はいいが、音声は波打ってしまうと云ってくる。いろいろ

話して、オーディオの取り込みの設定が違っていたのかもなどというので、それかも、云って副手の木村さんの聞いたら、それはハードディスクの転送レイトの問題かもというので、回転数を聞いても分からないという。ハードディスクを変えなくてももう一度取り込みをやり直さなければならない。心が痛む。「ドキュメンタリー論」と「空間表現研究B」の授業をやって戻ってくると、iBookを買ったけど研究室のプリンタで印刷できるかと云ってくる。それから、ビー玉を通した像を映すやり方を話しに来る。生き方についての考えを映画にする制作について話しに来る。ラジオ放送を企画している二人が、わたしの声を録音しに来る。ようやく、10時を過ぎて下校。地下鉄で帰宅。リンゴ、ビスケット、煎餅、牛乳。夕刊。仕事場に下りて、メールに返事を書いて、「灰皿町blog日記」を書く。

00:49:06 - shirouyasu - No comments

2005-07-07

小型扇風機を分解する。

6日の朝、トイレで読んだ「墨子」には、昔の聖王たちの云っていることを引き合いに出して、宿命論は世の中を乱す悪人の道だと書かれていた。ストレッチ体操、シャワー。萎れた薔薇の花を撮って、BlosxomBlogに入れる。日録ノート。多摩美の紀要に作品・論文を掲載する申請書を書く。麻理が蕎麦を茹でて昼食。ビデオのコピー。その後、回らなくなった小型の扇風機を分解した。プラスチックのカバーを外して、モーターを裸にしてみたが、回らない原因が分からなかった。[2年前にパソコンの電源ボックスを分解して](#)以来の分解作業。それから、茂木健一郎著「脳と創造性」を読む。麻理とビーフン炒めと買った南瓜のコロッケとみそ汁で夕食。ベッドで仮眠しながらテレビで2012年のオリンピックがロンドンに決まったというニュースを見る。わたしの場合、来年定年になった後の、今から7年後の2012年の自分の生活を想像することができない。仕事場に下りて、「脳と創造性」を半分過ぎたところまで読む。「灰皿町blog日記」を書く。居間に行って、リンゴ、煎餅など食べ、牛乳を飲んで寝る。

00:47:49 - shirouyasu - No comments

2005-07-06

Mac miniでDVの映像の取り込みはOK。

5日の朝、トイレで読んだ「墨子」には、天子に褒められるのも罰を受けるのも運だと考えるのは間違いだし、そういう考えは世の中を乱す元になると書かれていた。ストレッチ体操、シャワー、[ぽつんと咲いたクレマチスの花](#)を撮る。日録ノート。クレマチスをBlosxomBlogに入れる。見て、と云われて預かっていた2年生の岡本未来さんの去年作った「人生本」を読んだ。「未来自身」という週刊誌のパロディで中学生時代のことが書かれていた。蕎麦を茹でて昼食。「郵政民営化法案」の衆議院採決をベッドで寝転がって見ながら、うとうとする。仕事場に下りて、Mac miniでDVの映像の取り込みをやってみる。OK。3時ごろ出掛けて、地下鉄で、途中、澁谷で、売り場で働く卒業生とちょっと言葉を交わし、地下でおにぎりを買って、多摩美上野毛キャンパスへ。3年生の「小説」を読む。握り飯を食べながら、1年生の二人と映像作品のロケ現場の組み立ての話をする。食べてから、4年の住吉さんの16ミリで人物を撮ったラッシュを見る。小説を読み終えて、作者に字の間違えを指摘し、感想を話す。映像スタジオに、海老塚さんの指導で、1年生がロールペーパーに大きなベニヤ板版画をして、バトンで吊り下げるのを見に行く。9時過ぎ下校。地下鉄で帰宅。リンゴ、煎餅、牛乳。夕刊を読む。仕事場に下りて、「灰皿町blog日記」を書いた。

01:10:54 - shirouyasu - No comments

2005-07-05

東急セミナーBEの「現代詩の広場」で詩を講評。

そういえば昨日は、Mac miniを置く台を作ったのだったが、何年振りかで電気丸鋸を使ってベニヤ板を切ったのだった。その数時間後に日記を書く時、電気丸鋸のことをすっかり忘れていた。それはともかく、4日の朝、トイレで読んだ「墨子」には、宿命論は「天下の義」を滅ぼそうとするものだとして書いてあった。ストレッチ体操、シャワー。雨に打たれて頭を垂れた薔薇の花を撮る。日録ノート。下を向いた薔薇の花をBlosxomBlogに入れる。Mac miniに「Studio MX」「Microsoft Office」「Adobe Illustrator」「Adobe Photoshop」などインストール。今日、多摩美の広報に持って行くことになっていたCDに焼いた魚眼の写真をMac miniで見たら、画像が暗すぎるので、Photoshopで修正して、もう一度CD-Rに焼き直す。鮭茶漬けで昼食。2時半に家を出て、地下鉄で多摩美へ。二子玉で降りて、カレーパンとソーセージパンなど買って、タクシーで多摩美上野毛キャンパスへ。CDを広報の恋川さんに渡す。3年生のFTの小説を読む。そこに、加納さんが新しくできた映像演劇学科の受験生向けのパンフを持ってきて見せてくれる。海老塚さんとカレーパンなどを食べる。それからわたしは5時半頃下校。雨が止んでいて、こうもり傘を研究室に忘れる。大井町線自由が丘乗り換え、東横線で蒔谷に出る。紀伊国屋で「DreamWeaver/Fireworks」の解説書とMac miniのポケット便覧を買い、東急セミナーBEの「現代詩の広場」へ行く。始めちょっと話しをして、4人の人の詩を講評する。終わって、「Kirin City」へ行って、川口さん、五十嵐さん、白鳥さん、森さん、水嶋さんといろいろと話しをした。最後は白鳥さんの虫を食べる会の話で終わった。11時過ぎタクシーで帰宅。リンゴ、トウモロコシなどと牛乳。夕刊を見る。仕事場のパソコンコーナーで、Mac miniにスピーカーのケーブルを差し込んで、スピーカーから音を出すようにする。メール返信。そして「灰皿町blog日記」を書いた。

01:43:22 - shirouyasu - No comments

2005-07-04

方眼紙半壊工事支援機第6回公演「スカイレストラン」を見る。

3日の朝は6時半に起きて、Windowsに使っているCPU切り替え機にMac miniからUSBケーブルを差せば、PC用のキーボードとマウスがそのまま使えるかなとやってみたが、駄目だった。朝食後、トイレで読んだ「墨子」には、宿命論を信じる者への反論として、聖王たちが施行した法典、刑法、軍令を見れば、何処にも宿命なんてことは書いてない、ということが書かれていた。ストレッチ体操、シャワー。庭に咲いている花がないなあ、と外に出てみたら、赤まんまが穂を出していたのでそれを撮影した。日録ノート。BlosxomBlogに赤まんまを入れる。11時頃、代々木上原の駅に行く途中で、社会教育館で都議選の投票をする。小田急で経堂下車、Galeri KATAKATAKへ。経堂の駅が高架になってから初めて降りたので、住宅街にあるGaleryに行くのに地図があったが、ちょっと道を間違えた。「スカイレストラン」には多摩美の女優さんの辻村優子さんの招待で行った。映画評論家の大久保賢一さんの隣の席。出演している辻村さん、仕舞屋さん、宮崎貴子さん、新名なほみさんたちは、映像演劇学科の卒業生と在學生、作者の未波伸二さんも卒業生。劇の内容は、3人の中学校の同窓生が喫茶店に集まって、友人の結婚祝いの相談の話しをするが、その話しの中に女性から見た男女差別に対する社会批判の言葉が混じって来るという筋立て。客をギャラリーの床が一段低い奥に入れて、入り口側を舞台にして、表の通りに面したガラス窓をそのまま背景にして、道を通る人たちが見えるようにしてある。これが効果的だった。軽快なテンポで話が進んで笑いありちょっと涙ありの芝居だった。楽しめた。久しぶりに見た卒業生たちの姿が気持ちよかった。帰り、1年生の三ツ木孝輔君、鈴木枝里子さん、山崎綾子さんと経堂駅のカフェテラスでコーヒーやココアを飲んで話しをした。一緒に新宿まで行って、わたしはソフマップでMac miniに使うキーボードとマウスを買い、小田急地下で焼き魚とぬか漬けと麦田もちを買ってタクシーで帰宅した。お茶を飲んで一休みして

から、Mac miniにキーボードとマウスを繋いで起動して設定をした。それから、MacOSXをTigerにアップグレードした。設定の時、指示に従って傍にあった古いブルータワーのMacとファイヤーワイヤーで繋いで置いたら、そのアプリケーションとデータがすべて転送された。7時になり、麻理が出掛けていないので、みそ汁を作って、買って来た焼き魚で夕食。寝室に行きベッドの横になって「義経」を見る。仕事場に下りて、Mac miniのアプリケーションなど起動してみる。iMove HDで3年ぐらい前の写真を使ってムービー編集をやる。それから、居間に行ってリンゴ、麦田もち、トウモロコシと牛乳。テレビで、円周率を8万桁余り暗誦した人のことやっていた。数字を言葉に置き換える、つまり数字をエピソード記憶するというをやっていた。また仕事場に下りて、メールに返事を書いてから、「灰皿町blog日記」を書いた。

00:35:41 - shirouyasu - 3 comments

2005-07-03

銀座Apple StoreでMac miniを買っちゃった。

2日の朝、トイレで読んだ「墨子」は、「非命」篇に入った。政治がうまく行かないのを「宿命」だといっけいはいけない、宿命論者にごまかされてはいけない、現実的に即して合理的に判断すべきだと書いてあった。ストレッチ体操をする前に、漢方薬局に行って、軟骨増強用と視力回復用のサプリメントを買い、パルケに行ってスイカ、トウモロコシ、枝豆、アスパラなど買ってくる。それから、ストレッチ体操、シャワー。紫陽花の枯れ始めた花を撮る。日録ノート。[枯れ始めた紫陽花の花](#)をBlosxomBlogに入れる。トウモロコシとアスパラを茹で、蕎麦を茹で一人昼食。12時45分頃家を出て、坂下でタクシーを拾ってイメージフォーラムへ。1時15分からAクラスで「自作を語る」の授業。Bクラスと同じ「日没の印象」(1975)「時には眼を止めて」(1974)「角の辺り」(1975)を上映して、自分の個人映画の成立を話す。3時45分に終わって、渋谷駅に出て地下鉄で銀座に出る。先日、新宿のヨドバシで、メモリ増設したMac miniが買えるかと聞いたら、Apple Storeでなければ買えないと云うので、行ってみる気になっていた。ずっとMac miniって欲しいと思っていたのが、ここに来て、この夏休みにMac miniで遊びたい気持ちが募ってきて、買う気になったのだ。銀座では先ず靴屋を覗いたら、以前映像演劇学科でダンスを教えていた京屋さんに会う。それから、Apple Storeに行った。販売係のお兄さんがメモリ512MBでスパードライブ付きのMac miniが在庫しているというので、その場で買った。それを持ってまた地下鉄で渋谷に戻り、喫茶店のトップで鈴木余位君と会う。現在彼が興味を持っていることをいろいろと話し、お腹が空いたので東急ビルの9階の「蓬莱亭」に行ってヒレカツと一緒に食べながら、そこでも話した。8時過ぎにタクシーで帰宅。夕刊を読んで、NHKスペシャルのサイパンで玉砕しなかった子供たちのドキュメンタリーを見た。民間人がバンザイクリフから投身自殺したのは、東条英機が書いた「戦陣訓」で捕虜の辱めを受けるくらいなら死ねと教えられたからとか、兵隊から捕虜になったらアメリカ兵に殺されると聞かされていたから、と云うことだった。でも、生きたい一心で1万人以上の方が助かったのだということ。あの投身する女性を撮影した、もう故人になったアメリカ人のカメラマンの談話と、その女性を自分の母親だと云う人の話が印象的だった。仕事場に下りて、Mac miniを箱から出して見てまた箱に入れる。USBのキーボードとマウスがないから明日買ってこよう。それから、メールに返事して、「灰皿町blog日記」を書いた。

00:35:23 - shirouyasu - No comments

2005-07-02

村山匡一郎さんの奥さんのお通夜に行く。

7月1日の朝、トイレで読んだ「墨子」には、音楽は人が本来なすべきこと、つま

り役人の仕事、男の耕作、女の機織りなどから人を離れさせることになり、生産物が減り、世を乱すことになる「害」だから、禁止すべきだと書かれていた。ストレッチ体操、シャワー。庭の薔薇が咲いたので撮影。仕事場で日録ノート。BlosxomBlogに咲いた薔薇を入れる。鈴木和成さんから先日横浜市大で行った講義を聞いた学生たちの感想が送られてきたので読む。出席した者は全員感想を書くことになっているらしく、147人分の感想があった。個人映画は初めて見るという学生が多く、「新鮮な」と「不思議な」という形容詞が使われているのが目立った。「日常」と「非日常」ということの話をしたが、そのことはおおむね伝わった。中には「日没の印象」がモノクロ映像だったのを「昭和のレトロ」といっているのもあった。また、わたしの年齢を気遣って「お達者で！」と書いてあるのもあり、微笑まれた。麻理が蕎麦を茹でて昼食。鈴木さんに礼状を書く。その後、茂木健一郎著『脳と創造性―「この私」というクオリア』を読み始める。天才、秀才、凡才というような考え方から脱却して、誰もが同じ創造性を持っているという考えに立つと書かれていた。4時半過ぎに、野々歩が喪服で来て、わたしも黒いネクタイをして、一緒に村山匡一郎さん奥さんのお通夜に出掛けた。坂の下のポストに鈴木さんへの封書を出して、タクシーを拾い、落合斎場に行くように告げた。運転手さんが山手通りは混んでいるというので、中野通りに行くことにしたが、これがまたひどい渋滞で、落合斎場まで1時間も掛かって、着いたのが丁度お通夜が始まる直前だった。タクシーの中で、わたしは、野々歩が、人間には「世の中に自分がいると考える人」と「自分と世の中は一体だと考える人」の2種類の人がいると話すのを聞いていた。お通夜では、焼香の後、金井さん、かわなかさん、富山さんたちとビールを飲んで話をした。7時過ぎ斎場を出て、早稲田通りと山手通りの交差点の角の「ジョナサン」で、かわなかさん、竹林さん、金井さんと軽い食事を取って、若い映像作家についていろいろと話した。9時頃、タクシーで帰宅。夕刊を読む。萩原朔美さんの母上の作家の萩原葉子さんの訃報が載っていた。それからリンゴ、大福半分、牛乳。仕事場に下りて、「灰皿町blog日記」を書いた。

00:24:11 - shirouyasu - No comments

2005-07-01

「TAMABI NEWS」に載せる原稿を書く。

30日の朝、トイレで読んだ「墨子」は、「非楽」編に入った。貧しい者が飢え、衣類もなく、世が乱れているような時は、君主は音楽にうつつを抜かしているべきではない、というのが墨子の考えだ。ストレッチ体操、シャワー。庭の薔薇の花を撮っているところにイメージフォーラムの富山さんから電話で、村山匡一郎さんの奥さんが亡くなられたことを話してくれる。薔薇の画像をBlosxomBlogに入れる。麻理が蕎麦を茹でて昼食。その後、「TAMABI NEWS」に「美について」というテーマで頼まれたエッセイの原稿を書く。「美は波動で伝わる」という副題で、クオリアのニューロンのクラスターの発火の点滅が波動を生むのではないか、という考えを書き、メールで送る。4時に家を出て地下鉄で多摩美へ。上野毛の「さくら庵」で久しぶりに「雑焼き定食」。デリバリーボーイのかっちゃんCPUの話をする。6時から「ドキュメンタリー映画論」でドキュメンタリー・アニメという「4℃のライオン」とパフォーマンス映像作品の「無限の自由」を上映する。いずれも、独特の社会へのアクセスの仕方という話。4限の「空間表現研究B」では、「Ponchi危機一髪」を上映して、作品の余白の話をする。10時前に下校。地下鉄で帰宅。上原駅から歩いて家の帰ったら汗びっしょりで、シャワー。リンゴと、トウモロコシと新じゃがを茹でてちよと食べる。牛乳。夕刊。仕事場に下りてメールを見ると、広報の恋川さんからエッセイに入れる魚眼の写真のデータが小さすぎるのでもっと大きいものが欲しいというメールが来ている。他の魚眼写真をスキャナーで取り、CD-Rに焼く。それから「灰皿町blog日記」を書いていると、右足の中指の先が急に痛くなり、痺れを感じて、麻理の見て貰ったが、どうもなっていないという。どうもこの痺れは変な感じだ。

01:48:01 - shirouyasu - No comments